（別紙4（2））

事業所名　グループホーム実夢青木

目標達成計画

作成日：　平成　　31　年　3　月　15　日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	屋台のお囃子が寄ったり、花火大会ではベンチを並べて観賞したりと、地域の人と同じ空間、時間を過ごすことは出来ている。屋台のお囃子等子供達との触れ合いの機会もあるが地域の子供達との関わりも更に深めていきたい。	利用者と地域の子供達との関わりを持つ機会を増やしていきたい。	屋台の子どもたちにおひねりとして駄菓子を利用者の手から配る機会をつくりコミュニケーションをとる。学童所の子供達と触れ合う。	12ヶ月
2	40	複数の利用者に介助が必要であり誤嚥防止や食べこぼし、配置換え、声掛け等のため見守り、介助は外せないがそこに注意を注ぐあまり監視されているような印象を持つ利用者もいるかもしれない。	監視されている印象を持たれない様に物理的人的環境に配慮する。	テーブル毎に職員の見守りを分配し職員一人の見守りの範囲を縮小し移動も最小限にする。職員間で状況判断を共有し更に良い食事環境を整える。	3ヶ月
3	45	入浴に対し利用者が安全に安心した楽しい入浴をコミュニケーションを取りながら実施しているが更に楽しみを増やす事を実施して行きたい。	日替わりや週替わりでの入浴剤や柚子等をいれ入浴の楽しみを提供し利用者が更に満足して頂けるようにする。	月一か週替わりで入浴剤をいれ入浴を楽しんで頂く。前もって利用者に伝えイベントとして楽しみを作る。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。